

市長とのかがやきライフトーク


と き：平成 29 年 2 月 8 日（水）13：30～14：30

ところ：岐阜経済大学 6 号館・6102 号室

団 体：特定非営利活動法人いちゃりば経大

【いちゃりば経大代表】

いちゃりば経大の始まりは 2 年半くらい前、授業で地域課題を学ぶ機会があり、その中で子どもの学習について興味を持ったことがきっかけです。

そこから大垣市の現状を調査し、貧困家庭を対象に学習支援をしていくという形をとりました。しかし、ソーシャルインクルージョン（＝社会的包容力）の観点からよくないという


最初はサークル活動でしたが、今後に残すには無責任な形になるのではないかと考え、2 年前に NPO 法人を立ち上げました。法人化したことで、大垣市から事業を委託されることになりましたし、今後はさらに大きく活動していけるのではないかと考えています。

本日は、私たちの活動紹介や日頃の活動での思いを話したいと思いますので、よろしくお願いします。

～いちゃりば経大・映像での活動紹介～

【いちゃりば経大司会】

本日は、会員 16 人と顧問の先生を合わせ 17 人が出席をしています。本日の市長との懇談は、会員に日頃の活動から感じる思いなどを語ってもらいながら、これに市長に加わってもらおう形で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

では、はじめに、活動していてよかったことや感じたことなどを、会員に聞いていきたいと思っております。

【いちやりば経大会員】

活動を始めた頃は、子どもがひとりしかいませんでしたが、地域の方をお願いをして、中川小学校区の子ども会を紹介してもらうことで徐々に広がりました。

大学という、子どもには普段入れない場所で学習支援ができたことや、子どもと歳が近いことで、教えやすいのがよい点ではないかと思います。



【いちやりば経大司会】

1年生は始めたばかりですが、どんな印象を持っていますか。

【いちやりば経大会員】

私は、人に教える、子どもに教えることが初めてでした。教えることの難しさや、自分が理解していることを噛みくだいて説明することの難しさを知ることができたのはよかったと思います。これからの経験に生かせると思いました。

【いちやりば経大司会】

活動の中で学び得たものはありますか。

【いちやりば経大会員】

子どもたちの発想は、自分たちに無いものをたくさん持っているのので、そのアイデアや発想に触れられたことは自分にもプラスになりました。

【いちやりば経大会員】

私はタイからの留学生ですが、日本語がわからない部分もあるので難しいです。

【いちやりば経大司会】

サークル活動から法人化したことで変化はありましたか。

【いちやりば経大会員】

NPO 法人になることによって、社会的信頼が得られ、会員も増えて活動が広がったと思います。

【市長】

教える対象は、中川小学校の1年から6年ですか。

【いちやりば経大会員】

最初は中川小学校のみでしたが、今ではロコミで宇留生小学校の子どもも来ています。今後さらに拡大していけたらと思っています。

【いちやりば経大司会】

大垣市では子どもに対して、学びの部分だけでなく、居場所づくりなどの取り組みはされていますか。

【市長】

子育て支援というと、どちらかというと就学前の子どもの方が注目されがちですが、本市では学校教育にも力を入れており、人づくりを大切にしています。

学校教育ではもちろん既存の授業も大事ですが、それ以外に時代に対応した教育ということで、ICT活用教育、英語教育に力を入れています。一方で、グローバル化した時代だからこそ、ふるさと教育という、地域のことを教える教育もしています。

ICT活用教育は、スマホやパソコンを使って教育効果を上げるという側面がありますが、マイナス面もあります。スマホが辞書代わりになり、文字を覚えないし記憶しなくなります。記憶の教育から、学び創り出す教育へと変わりますが、これには知識が前提になります。考えるというのは知識をいろいろ組み合わせます。それがないと、考えることも創り出すこともできなくなります。便利な分、弊害を見極めることも必要です。



英語も読み書きの英語ばかりやってきましたが、最近は会話の教育に力を入れるようになりました。ふるさと教育を大事にし、学び、考え、創り出す教育をやっていきたいと考えています。

貧困家庭という面では、大垣ではある程度、豊かさがあるのではないかと感じていますので、あえてスポットを当ててはやっていないのですが、そういうところで、いちやりば経大が、宿題がなかなかできない子や学校についていけない子にしっかり教えていただいているのは大変ありがたいと思います。

【いちやりば経大司会】

会員の皆さんは、これから入ってくる学生たちに伝えたいことはありますか。



【いちやりば経大会員】

子どもの学力レベルに合わせて教えなければ
ならない点が難しいことを伝えたいです。

【いちやりば経大会員】

いちやりば経大に来る子は、学習目的では
ありますが、子ども同士がふれあうことも大切
なので、私はその点をこれから入る学生に伝えられればと思います。

【市長】

子ども同士のふれあいだけでなく、皆さんとのふれあいもあると思うし、勉強と同時に
イベントの中での創意工夫もあり、そういう体験学習は非常によいと思います。

【いちやりば経大会員】

私は、法人の手続きは大変だということを伝えたいです。

【いちやりば経大教授】

法人の手続きでは、法人登記や税金のことなど、初めてのことが多くて大変でしたが、
学生と一緒に行政の方に教えてもらいながら進めていきました。大変勉強になりましたし、
行政の方は親切で、とても身近に感じました。

社員総会、理事会、議事録など、こういうことは大学の普通の授業では、なかなか
勉強できないことだと思います。会社の設立手続きや会社の仕組みについて知ることが
でき、学生は卒業してからも役に立つのではないかと思います。

法人化してよかったところは、法人組織に関心をもってくれたのかどうか分かりませんが、
新しい1年生をはじめ、いちやりば経大の紹介を見た多くの学生が参加してくれた
ことです。法人化に不安を感じていたので、大変うれしく思いました。

【市長】

本来の教育サポートの活動以外に、法人化の手続きも経験され、社会に出るよいトレー
ニングになりましたね。

【いちやりば経大会員】

学生サポートの話に戻りますが、私は小学校の時あまり勉強していなくて、中学校で不登校、高校も1年遅れで入り、ずっともどかしさを感じていました。そのため、同じ悩みを抱える子どもたちのよき相談相手になり、自分にできることを支援していきたいと考えています。

【市長】

自分が経験したことは、同じ経験をした人の気持ちがよくわかるというよさがあります。社会に出ても同じです。長い人生取り返しができます。そういう経験をうまく活用してほしいと思います。

【いちやりば経大司会】

これからやっていきたい活動はありますか。

【いちやりば経大会員】

最近、小学生の運動や栄養バランスが問題とされていますので、私は子どもたちと楽しみながら運動したり、食育のケアをする活動もしていきたいです。



【いちやりば経大会員】

私は子どもの居場所について、大垣市の事例研究をしました。いちやりば経大のほかにも、貧困家庭の子を対象に「子ども食堂」を始めている団体もあります。しかし、そこに集まる子どもが少ないのは、スタッフの不足や貧困家庭だから行きにくいという理由もあるでしょうが、何より周知不足があると思います。これを改善するためには、学校や地域の方など身近なところからPRしていくことが必要だと思います。子育て支援アプリなどにも紹介されると、貧困家庭の子どもや不登校の子にも伝わるのではないかと思います。

【市長】

子育て支援アプリのように、自分で自発的に情報を取りに行き、そういう場所に来てくれると、課題の解決には理想的です。

もう一つ先ほどの、栄養のバランスや運動能力、これは一番大切です。バランスのよい食事を摂って健康的に過ごすというのは非常に大切です。

【いちやりば経大会員】

大学の陸上部では、アスリート育成クラブというのもやっていますが、これと連携して体育の教育もできるとよりよくなるのではないかと思います。

【市長】

行政のサポートが入りにくいところで、子どもと年齢の近い皆さんが、このようにしっかりサポートしていただけるというのは、大変素晴らしいことだと思います。これからも継続していただくとありがたいです。

それから、教えるということに絶対的にこれがよい、というものはありません。皆さんのそれぞれの経験がベースとなって、相手に合わせていろいろな教育ができていきます。皆さんの若い知性、若い経験・体験を活用して、一人でも多くの子どもたちによりよい学びの場を提供していただけたらと思います。

ご活躍を心から期待しています。

